



ノリウツギ (ユキノシタ科)

芝谷地は今、ヨシの繁茂、周田からの樹木の侵入、増殖、湿原の陸地化現象などで困っています。

低木のノリウツギも年々増殖し、今では200本以上と多くなりました。これらの木々が湿原に密生すると他の湿原植物に影響しますので案じられます。ノリウツギは今ごろ白いアジサイのような花(アジサイのなかま)を長い期間咲かせています。この木は極めて強い木で、山地、原野、川沿いなどで見ますが芝谷地では東側、西側に寄ったところに多く、適度の湿りを欲しがります。

名の由来は幹の内皮の粘液を和紙用の糊に使ったことからノリウツギまたはノリノキ。幹皮を爪でひっかいてぬるぬるすることで確かめたものでした。北海道ではサピタの名で通っているようです。 文・菅原キサ 写真・山田政一

編集後記

□最近、市長への手紙や広報の上昇気流への投稿などが多くなってきました。しかし、そのほとんどに投稿者の名前や住所、電話番号がありません。そのため、せっかくの良い意見や提言であっても取り上げたり、回答したりすることができません。自分の意見には責任を持ちたいものです。(ま)

□『ふるさと探検号』には多数の参加希望者があり、参加できないかたのほうが多くなってしまいました。そんな中、何の連絡もなく出発時刻に現われなかったかたが数名おり、見学施設などに迷惑をかけてしまいました。「自分さえ良ければ…」では済まされません。

最低限のルールは守りたいものです。(咲)

□先月半ば、全国の広報・広聴事務担当者で交流してきました。そこで得た結論は、「広報・広聴とは、一つの事柄について住民の意見を拾って議論を呼び、行政を動かすためにある」ということです。決して市役所の独りよがりであってはいけません。

広報は本来、市役所よりむしろ住民に近い存在なのです。皆さんの声をお寄せください。一緒に大館市を動かしてみませんか。(ゆ)

広報おおだて 平成8年7月16日号(No657)

発行/大館市 〒017秋田県大館市字中城20番地

☎0186-49-3111

編集/総務部総務課広報広聴係(内線258)

広報おおだては再生紙を使用しています。